

様式第4号(第5条関係)

令和 6 年 4 月 2 日

菊池市議会議長

水上 隆光

様

議員名

本藤 潔

令和 5 年度 政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

菊池市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費

240,000 円

2 支出

(単位 円)

項 目	金 額	備 考
会議研修費		
調査研究費	89,748	二本松市歴史観光施設視察研修
資料作成費		
資料購入費		
広報費	177,100	議会通信
広聴費		
人件費		
事務所費		
要請・陳情活動費		
合計	266,848	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0 円(支出が収入を上回る場合は0を記入)



研 修 報 告 書

菊池市議会
議長 水上 隆光 様

菊池市議会議員
本藤 潔

研修名 行政視察 二本松市歴史観光施設 にほんまつ城報館

研修先 福島県二本松市 にほんまつ城報館

研修期間 令和6年1月16日～17日

上記により出張しましたので、下記のとおり報告します。

事業概要 二本松城跡前に二本松城文化観光施設を核とする整備を行い、二本松の歴史・文化・魅力を伝える新たな交流拠点の創出と観光振興による地域の活性化を図るとともに、城跡内は、文化課策定による二本松城跡整備基本計画に基づき市のシンボルである二本松城跡を「歴史公園」として整備。

事業経過 H27年度 二本松城址前整備基本構想策定

H29年度 基本設計業務

H30年度 新築実施設計業務、埋蔵文化財発掘調査

R2年度 建築工事、二本松城文化観光施設新築展示製作等業務委託

R3年度 外構工事

R4年度 二本松市歴史観光施設（愛称：にほんまつ城報館）開館

R4年度～5年度 周辺整備工事等の実施

歴史観光
施設の概要

1F 二本松歴史館 2F にほんまつ観光情報館

延べ床面積 1,749.31㎡

事業費 1,711,274,681円

研 修 報 告 書

財源 ・ 社会資本整備総合交付金 (40%)

・ 都市構造再編集中支援事業費補助 (50%)

・ 合併特例債

来場者数 166,508人 (R4. 4. 9～R5. 12. 28)

維持費用 17,266,528円 (R4 実績額)

内訳 需用費 9,946,876円

役務費 1,363,510円

委託費 5,405,214円

使用料、賃借料 550,928円

課題 ・ 効果的な情報発信や来館者の市内周遊を促すための方策

・ 閑散期の誘客 ・ 維持費の縮減など

所感

人口51,807人、面積344.42km²、議会構成や当初予算額等、歴史溢れる二本松市は本市と共通点が多い。本多二本松市議会議長はじめ執行部の皆さんの話から、歴史を重んじ世代をつないで力ある街づくりを推進する想いが、今回視察した「にほんまつ城報館」に全て詰まっている。特記すべきは市民に愛され歴史に誇りを持ってもらうために設置された「二本松城ガイダンス室」などの発信力。大型5面スクリーンで映し出される迫力ある映像でCGで再現した大手門の姿や本丸までの道のり、二本松城の石垣や四季の移り変わりの様子は圧巻でもあり感動的であった。R4年度の来館者は約9万人。対象者を市民及び市外へターゲットを広げているなかで企画展での取り組みの説明もあったが様々なイベント開催や市内小中学校、各種団体との連携をもって発信していきたいとのこと。市直営で運営することで今後のあり方が問われるのは、費用対効果もそうだが企画の段階から若い世代の学生や各種団体との密な連携をもって、市民が「誇り」とする意識を如何に高めていけるかだと感じた。小雪舞う中に佇むに圧倒的存在感を示すにほんまつ城報館が、私たちにエールを送っているようにも感じた視察研修であった。



行程表

コースNo. 00004230
作成日: 令和05年12月21日

木ークラブ 様

にほんまつ城報館

令和06年01月16日(火)～01月17日(水) 1泊2日 大人 8名 小人 0名 合計 8名

㈱農協観光 代理業
熊本県知事登録旅行業代理業23号
菊池地域農業協同組合 JA菊池旅行センター
〒869-1205 熊本県菊池市旭志川辺1875番地
TEL: 0968-23-3513 FAX: 0968-23-3517
総合旅行業務取扱管理者: [redacted]
担当者: [redacted]

1	1/16 (火)	阿蘇くまもと空港 08:00 09:00 ANA524 伊丹空港 10:10 12:00 ANA3179 福島空港 13:05 13:30 【宿泊】 郡山ワシントンホテル TEL:024-923-1311 0243-22-6630 二本松市(にほんまつ城報館)研修 15:00 16:30 ジャンボタクシー 17:00 宿泊 郡山△ 18:00 ジャンボタクシー 19:00	
2	1/17 (水)	出発 ホテル 08:30 自己手配 郡山市内視察研修 09:00 11:00 自己手配 福島空港 12:00 13:35 ANA3180 伊丹空港 14:50 16:45 ※ 悪天候の為、予定されていた飛行機が欠航した為 搭乗便を変更せざる得なかった。 ANA527 阿蘇くまもと空港 17:55 出発 ホテル 06:00 自己負担 バス 福島空港 07:00 08:00 ANA1696 伊丹空港 09:20 10:35 ANA1625 阿蘇くまもと空港 11:55	

バス 車 JR 私鉄 船 飛行機 ロボウェイ ケーブル 徒歩

令和5年度 当初予算 可決 本藤賛成

一般会計 273億6,600万円(前年度比2.1%増)
 特別会計 134億2,141万円(前年度比0.9%増)
 企業会計 45億1,421万円(前年度比6.7%増)

※千円以下の数字は切り捨てています

目的別歳出予算割合

議会費 … 0.8%	衛生費 … 6.2%	土木費 … 9.6%	災害復興費 … 0%
総務費 … 9.5%	農林水産業費 … 8.5%	消防費 … 3.3%	公債費 … 12.0%
民生費 … 36.9%	商工費 … 1.8%	教育費 … 11.3%	予備費 … 0.1%



主 な 事 業 U P

有害鳥獣対策にAI技術を導入！

捕獲重点期間(3月～6月)を位置付け奨励金を増額し、鳥獣捕獲DX事業に取り組む捕獲強化。箱わなカメラを設置し、通信機器で捕獲状況を知らせることで、捕獲隊員の労力軽減や捕獲データをもとにわなの設置を最適化できると期待。総事業費 1,657万円。

竹粉碎機を貸し出し！

放置竹林の対策や整備を図るため市所有の竹粉碎機を市民へ貸し出す事業です。また「予防伐採事業」として作業費の予算もつきましたので共に活用できます。総事業費 3,501万円。

観光プロモーション事業！

国内旅行者及びインバウンド(訪日外国人旅行者)需要の回復を見据えた企画造成や販売、受け入れ体制の強化、菊池温泉街の魅力化に取り組み事業。約13万人の宿泊客を目指すとしています。菊池の魅力効果を効果的に発信して活性化につながればと思います。総事業費 2,451万円

子育て世帯移住に移住支援を！

生産年齢人口を増やすことを目的に、未就学児の家族で転入した世帯に移住支援をするもの。未就学児1人の場合30万円、2人以上は40万円を交付し、過疎地域に指定された旭志地域に転入した場合は30万円を加算。総事業費 1,620万円。

子ども医療費助成を18歳まで拡充！

子どもの医療費自己負担金を18歳まで拡充して助成することになりました。総事業費 2億2,655万円



全ての学校給食に菊池産特別米を！



菊池産特別栽培米を全小中学校の児童生徒へ、より安心安全な給食を提供。地産地消の推進にも繋がると思います。



【本藤 謙プロフィール】

昭和41年1月28日生

学歴 … 鹿児島国際大学社会学部卒

職歴 … 参議院議員沢田一精事務所(3年間)

公立菊池養生園勤務(8年間)

社会福祉法人菊池会理事長

菊池さくら保育園(現在)

役職 … 熊本県保育協議会会長

家族 … 妻・娘・息子・母

趣味 … テニス・ゴルフ・読書・旅

好きな言葉 … 人生我以外皆師

学生時の夢 … 国連職員と農業

尊敬する人 … 上杉鷹山・稲盛和夫

今気になる事 … 体の柔軟性

令和5年6月定例会の予定

6月23日 … 議案上程・説明

6月29日～7月4日 … 一般質問

5日 … 常任委員会

6日 … 常任委員会

11日 … 予算決算常任委員会

14日 … 討議・採決・閉会

菊池市議会議員 本藤きよし

議会通信

2023年5月
No.3

—未来へつなぐ 架け橋のために—

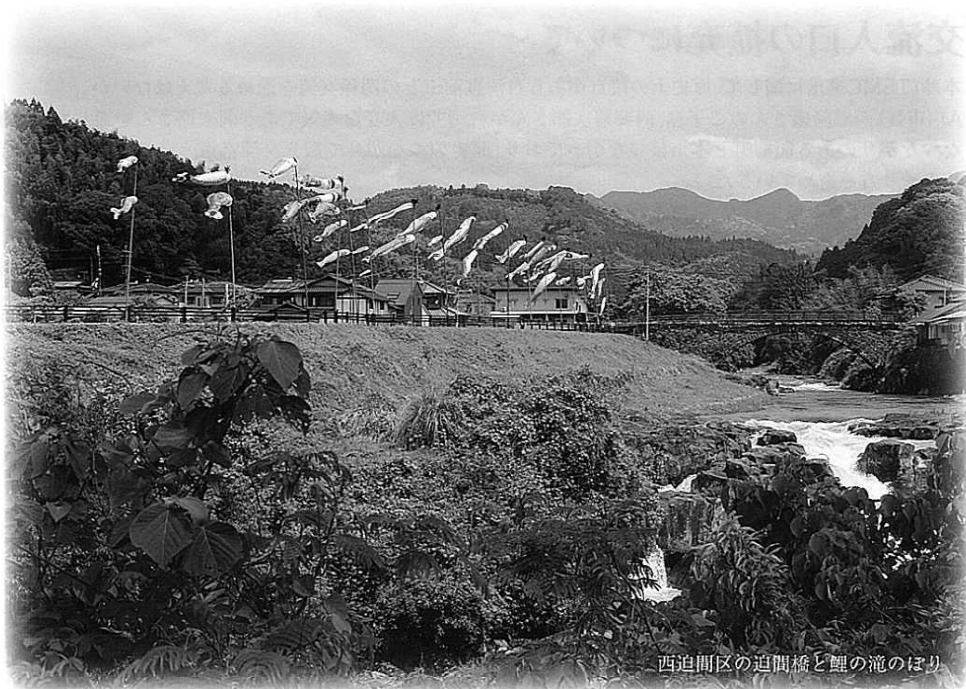
本藤きよし事務所 〒861-1684 熊本県菊池市豊間 505-1
 TEL/FAX.0968-25-4225 mail:kikisahol128@icloud.com



ご挨拶

爽やかな新緑に大地の命を感じる季節となりました。昨年6月より初議席をいただき早や1年が経とうとしています。少しでも地域に活力と豊かさを感じ次世代の子ども達に故郷を繋ぐためにできることは。見る、聞く、知る、語る、ことからの政治活動を通して幾つかの政策提言もして参りました。少子高齢化社会で人口減少が進む中、如何にして「希望」を創造し共有していくか、今を生きる私たち、特に議会及び執行部に問われている課題だと思っています。

新型コロナウイルス感染症が終息へ向かう新年度が、これまでの分を取り戻す活力へとつながる一歩となることを願い議会通信をお届けします。



西迫間区の迫間橋と鯉の滝のほり

見る、聞く、知る、語る ことからの政治。

子ども子育て施策について

本藤)子どもの育ちと子育て家庭を支える保育施設は、子育て支援の重要な要であるとともに、未来への投資として、また地方創生の不可欠な社会資源でもあると認識をしているが、人口減少に伴う幼児教育・保育所・認定こども園の定員変更についてどう対応しているか。

A) (福祉部長) 直近2か年における入所児童数の実績や翌年度当初の入所見込数を基に施設長へのヒアリングを実施した上で、菊池市子ども・子育て支援事業計画に基づき、教育・保育の需要量に対して適正な供給量となるよう調整している。

本藤)自治体ごとのローカルルールがある中で現状にあった迅速な対応を要望する。

本藤)保育士不足の対応について市ではどのような取組みがあるのか。

A) (福祉部長)「保育士等人材バンク」を設置または「保育補助者雇上強化事業」を実施しており、自治体独自の取組ができないか、園長会でも意見を伺って様々な角度から検討している。

本藤)産後ケア事業促進の周知は十分か。

A) (福祉部長) 育児支援を特に必要とする母子を対象に訪問型、通所型、宿泊型の三つの形態で実施している。出生届時や1〜2か月児の家庭訪問時に産後ケアのチラシを配布して、事業の説明を個別に行い、母子健康手帳アプリ「きくちっこ」やホームページ、年間の母子保健事業を記載した「きくちっこ健康カレンダー」に産後ケア事業について掲載し周知を図っている。



交流人口の拡充について

本藤)TSMC進出に関して、歴史上の接点がある台湾宜蘭市との関係交流を進める考えはないか。

A) (市長) 西郷隆盛さんのご子息、西郷菊次郎さんが台湾では大変な人気であり菊次郎さんを通じた歴史的なつながりのある龍郷町と本市はつながっており、歴史のつながりで観光交流都市といった垣根の低い交流のやり方を進めていきたい。

本藤)運動施設と温泉施設、自然を有する菊池市において、スポーツ交流を積極的に推進するスポーツコンベンションなどを推進して、交流人口を拡充する考えはあるか。

A) (教育部長) モルックなどのニュースポーツなども取り入れたスポーツ交流に取り組み交流人口拡大のための魅力発信のため各種スポーツ大会や温泉を利用した合宿などの誘致をしていきたい。スポーツコンベンションも調査研究していく。

経済建設常任委員会

各種団体との意見交換会(1月31日)

○有害鳥獣対策について

有害鳥獣捕獲協議会・JA 菊池・農業共済組合・森林組合

○TSMC進出に伴う経済対策について

建設業協会・企業連・商工会

委員会が担当する予算執行に係る現地視察(3月6日)

・竜門ダム周辺整備 ・古川伊倉線道路改良工事

・四季の里旭志 ・大琳寺4号線拡張工事 ・市役所前水車

第2回 議会改革検討特別委員会(4月21日)

検討項目が複数ある中で、「議員定数」と「予算決算常任委員会」の在り方から進めていくことになりました。

市民の声を取り入れながら慎重に進めていきたいと思っています。



菊池市の魅力・移住定住について

本藤)「田舎暮らしの本」(宝島社)と雑誌でも紹介された「住みたい田舎ベストランキング」で、菊池市は全国上位に名を連ねたが、魅力ある菊池市に住んでみたいという、本市の移住定住の施策についてどのように取り組んでいくのか。

A) (政策企画部長) 情報発信として市公式ウェブサイトの「きくち暮らしのすすめ」や移住ポータルサイトの「SMOUT(スマウト)」を利用して移住者インタビュー記事を紹介するほか、オンライン移住イベントや県主催の移住相談会などに参加し本市のPRを行っている。

本藤)地域の魅力を内外に知ってもらうシティープロモーションが大切だと思うが、移住政策のどこに重点を置くのか。また移住者の実績は。

A) (政策企画部長) 移住施策の柱となる「空家バンク」登録物件の増加策に加えて、子育て世帯移住支援策に力を入れていきたい。本市の移住施策を通して移住された方の実績は、令和2年度で6世帯13名、令和3年度で12世帯30名であった。

本藤)菊池市への移住希望者は約230件程ある。一方で「空家バンク」への登録が少ない。今後どう周知し登録件数を増やすためにどのように進めるのか。

A) (政策企画部長) 広報誌への掲載や区長文章の配布、固定資産税の納付通知書にチラシを同封して、空き家所有者に送付するほか、生涯学習まちづくり出前講座の一環で説明会を開催しており、今年は花房校区と旭志地区の2カ所で実施している。今後も引き続き説明会を開催し、空家バンクの物件登録数の増加に努めていきたい。

本藤)市長の考えは。

A) (市長) 今まですこしずつ取り組んできた結果がランキング上位として評価されている。

1,700ある自治体の競争の中で、差別化、認知化が進みつつあるのでTSMC進出の動きも生かしながら、より一層具体的に進めていきたい。移住定住策として特に子育て世代の方に移住してもらう「子育て世帯移住支援事業」の政策などを展開していきたい。



ここが気になる

(1) 菊池市市民会館あり方検討委員会の協議状況

4回開催された検討委員会の報告がありました。類似する2施設の「統合」について承認されたというものでしたが今後の時期や場所については、慎重に検討していくとのことです。

菊池市文化会館… 築43年経過、設備の経年劣化と機能低下

泗水ホール… 築27年経過、設備の経年劣化と機能低下

(2) 菊之池小学校増築事業

地域間格差の中で、市内小学校の適正化を考えていく必要性を感じています。総事業費7,536万。

(3) 花房さくら坂公園が開園

平成15年の設計から20年の歳月をかけて完成した花房さくら坂公園。総事業費9,300万円。ロケーションとして菊池平野を眼下に一望できる素晴らしい公園と思いますが、観光拠点として更なる整備と知恵が必要だと思います。

